



●尾張支社
一宮市栄
2-14-1
アスティー
北館102
電話
0586(72)501
FAX
0586(72)681

●尾東支局
春日井市上条町
1-2-
原ビル4F
電話
0568(41)991
FAX
0568(41)991

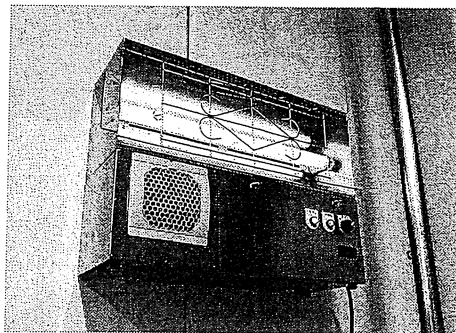
●半田支局
半田市泉町1-4
新美ビル4F
電話
0569(24)631
FAX
0569(24)631

業務用捕虫器を開発

高吸引力で捕獲性能向上

赤門ウイレックス

総合衛生管理サービスの赤門ウイレックス(本部長久手市戸田谷、山田幸司社長、電話0561・63・0789)は、業務用の吸引式捕虫器を開発し販売に乗り出す。内蔵する高出力バキュームで、製造現場に侵入する昆虫を吸引取る仕組み。従来の粘着式に比べ、捕獲性能を大幅に高めた。自社製品を製造販売するのは、今回が初めて。18日から名古屋市のポートメッセ名古屋で開催される「2018中部パック」に出展してアピールし、今秋の本格販売を見込む。(長久手・柴田芳尚)



開発した吸引式捕虫器「VIC」

吸引式捕虫器「VIC(ビーク)」は、2016年に開発に着手。試作機を経て、このほど製品化した。ステンレス製の防じん仕様で、耐久性にも優れている。大きさは幅606mm、奥行き240mm、高さ492mm。重量は15.5kg。3件の実用新案を取得している。

工場などの出入り口周辺に設置する。侵入する蚊やハエなどの昆虫をUVランプで誘引し、電動バキュームによる空気の力で、機器内部の捕獲ネットに吸引する。同社によると従来、製造現場などで多く使われていた粘着テープで捕獲するタイプと比べ、捕獲数は2.5倍に拡大したという。

また、特殊センサーで0.3mm以上の微細な昆虫を検知し、捕獲数がかかる表示カウンタも設置。山田社長は「工場などに虫が混入することを従業員が

認識し、衛生意識向上につながる」と話す。同社では、食品や包装業界を中心に、保守・サービスも含めたレンタル方式で販売する方針。来年以降、月10台の販売を見込む。市場開拓を図るため中部パックのほか、6月12日から東京都の東京ビッグサイトで開催される「FOOMA JAPAN 2018(国際食品工業展)」にも出展する。中部パックでは、

同業を含めた防虫管理をテーマに、19日午前10時10分から会場で、プレゼンテーションセミナーも開催する。山田常務は「顧客の要望を受けて開発した。衛生管理の根本的なサービスに付随する製品として提供して

いきたい」と話している。同社は、空調ダクトクリーニングや排水管洗浄、防カビ、殺虫・殺菌消毒の施工など、建物・工場向けに幅広い衛生管理業務を手がける。17年9月の売上高は約48億円。今期は50億円を目指す。

業況DI、1ポイント改善

一宮会議所が「従業員はマイナスイ」3月期調査

【一宮】一宮商工会議所がまとめた2018年1〜3月期の中小企業業況調査によると、全体の指標を示す業況DI(「増加」「好転」と回答した企業割合から「減少」「悪化」と回答した企業割合を引いた数値)は、前年同期(17年1〜3月期)比1.0ポイント改善のマイナス22.0となった。売り上げも改善したものの、採算DIと資金繰りDIでマイナス幅を広げ、従業員DIはマイナスイに転じ、人手不足が鮮明になった。

繊維製造業(49事業所)では業況で6.1ポイント改善した。一方で2.1ポイント改善した。一方で売り上げ、資金繰り、従業員では悪化した。

設備投資に関しては、今期の実績は19事業所29件業況セミナーを開催する。自

【小牧】小牧市と小牧商工会議所は5月28日、同市堀の内市役所本庁舎で、創業セミナーを開催する。自

日本政策金融公庫

子ども

設置や老朽化更新するため、企業などから事業を始め、1970年、た公園が多、朽化が深刻化、市民らと一休どもたちの遊事業名は一んなに思い山どもたち皆がくる手助けに、との思いを込める者はベンチや

遊具など35種な遊具を選べる公園に寄ることができる。白メッセージがプレートで遊ぶことができる。対象となる内都市公園広場など約1人だけでなく業でも寄付で額は10万〜1

を対象に面接や式で実施した。

女性のプチ創業を支援

来月26日に創業セミナー

【小牧】小牧市と小牧商工会議所は5月28日、同市堀の内市役所本庁舎で、創業セミナーを開催する。自

日本政策金融公庫

日本政策金融公庫

日本政策金融公庫